

2016年3月期 決算説明会

2016年5月30日

株式会社日本ケアサプライ

I 2016年3月期 決算概況

II 2017年3月期 通期業績見通し

I 2016年3月期 決算概況

II 2017年3月期 通期業績見通し

- 売上高、全ての利益項目が、前期比増収増益。
- 売上高については、福祉用具レンタル・販売が伸び、7期連続増収。
- 利益については、売上高の増加、レンタル資産の稼働率の向上、減価償却費の抑制、経費節減により増益。

2016年3月期 業績ハイライト(前期比)



	2015/3期 実績	2016/3期 実績	前期比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	12,131	13,707	1,575	13.0%
営業利益	962	1,247	284	29.6%
経常利益	975	1,259	284	29.1%
純利益※	505	776	271	53.8%
EBITDA	4,157	5,139	981	23.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

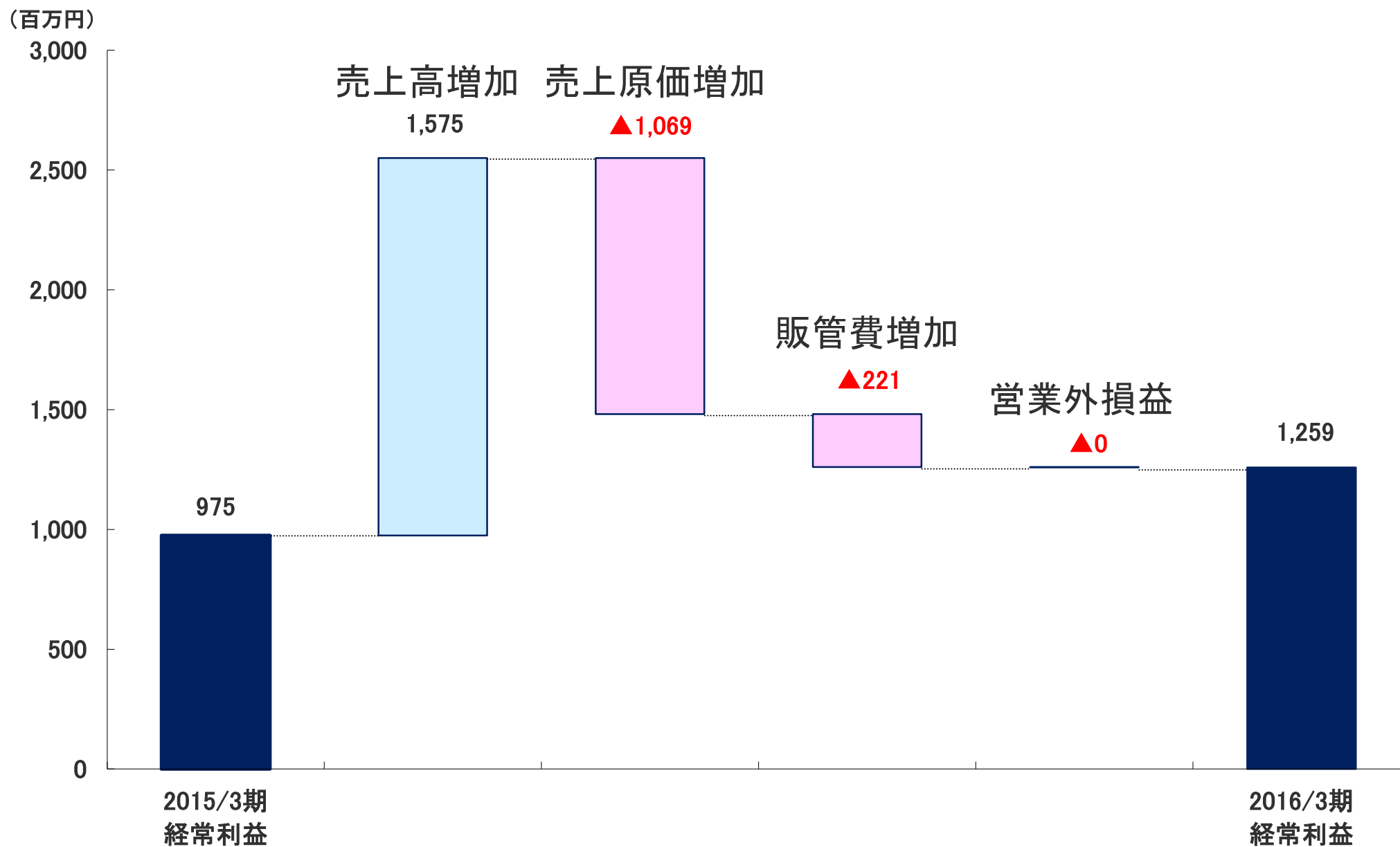
2016年3月期 業績ハイライト(業績予想比)



	2016/3期 業績予想(12/25)	2016/3期 実績	業績予想比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	13,600	13,707	107	0.8%
営業利益	1,120	1,247	127	11.4%
経常利益	1,130	1,259	129	11.5%
純利益※	680	776	96	14.3%
1株当たり純利益(円)	43.76	50.00	6.24	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

經常利益 増減要因(前期比)



連結貸借対照表



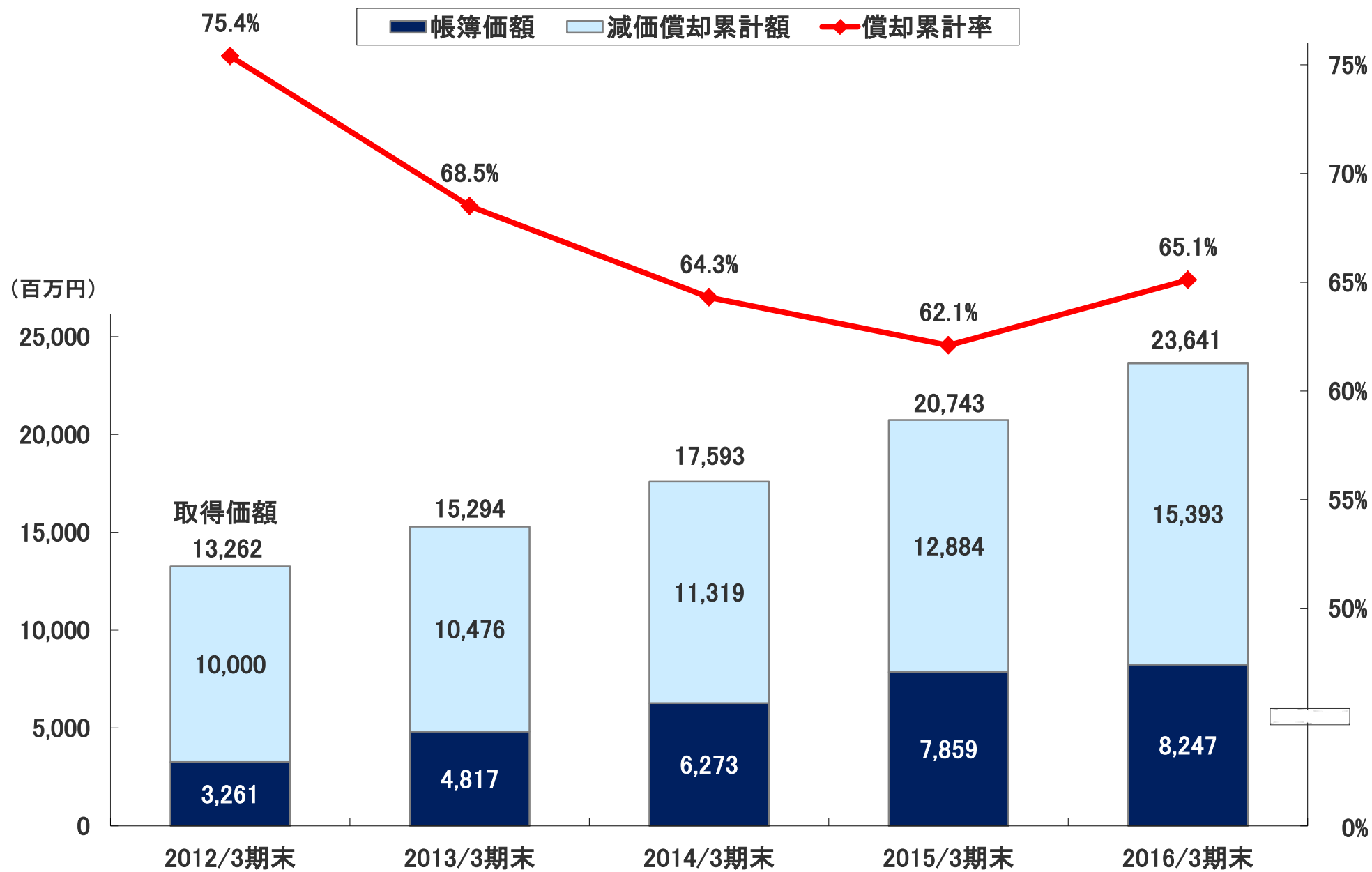
	2015/3期末 実績	2016/3期末 実績	前期末比
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)
流動資産	3,674	5,197	1,523
固定資産	9,383	10,033	650
(レンタル資産)	7,859	8,247	388
資産合計	13,057	15,231	2,173
負債合計	3,069	4,767	1,697
純資産合計	9,987	10,463	475
負債純資産合計	13,057	15,231	2,173

連結キャッシュ・フロー



	2015/3期 実績	2016/3期 実績	前期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)
現金及び現金同等物の期首残高	2,674	1,375	▲ 1,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 875	512	1,387
(うちレンタル資産の取得による支出)	▲ 4,458	▲ 4,440	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 81	▲ 2,505	▲ 2,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 341	1,230	1,572
現金及び現金同等物の期末残高	1,375	613	▲ 762

レンタル資産の保有状況の推移

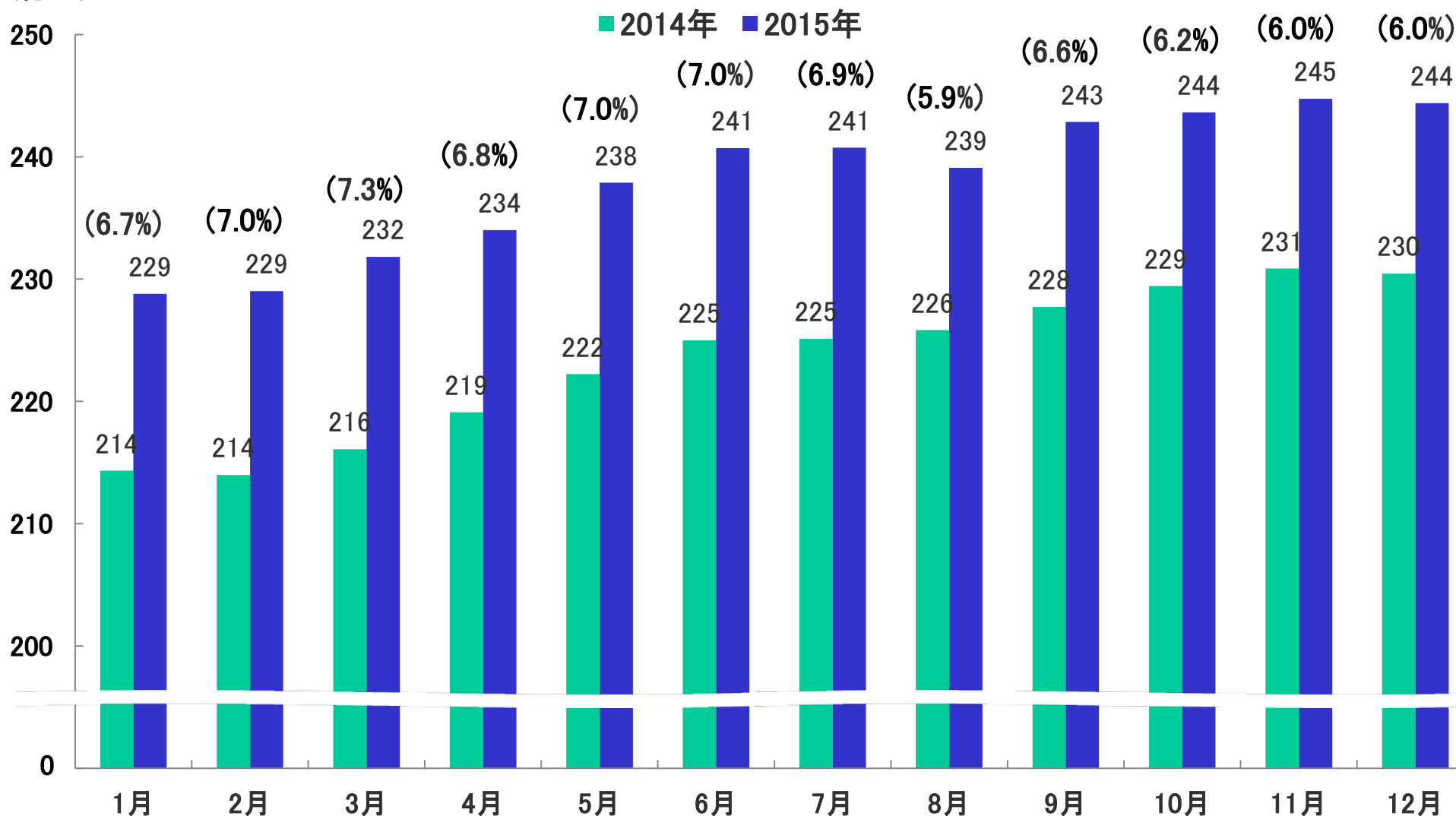


I 2016年3月期 決算概況

II 2017年3月期 通期業績見通し

■ 福祉用具貸与費の推移

(億円)

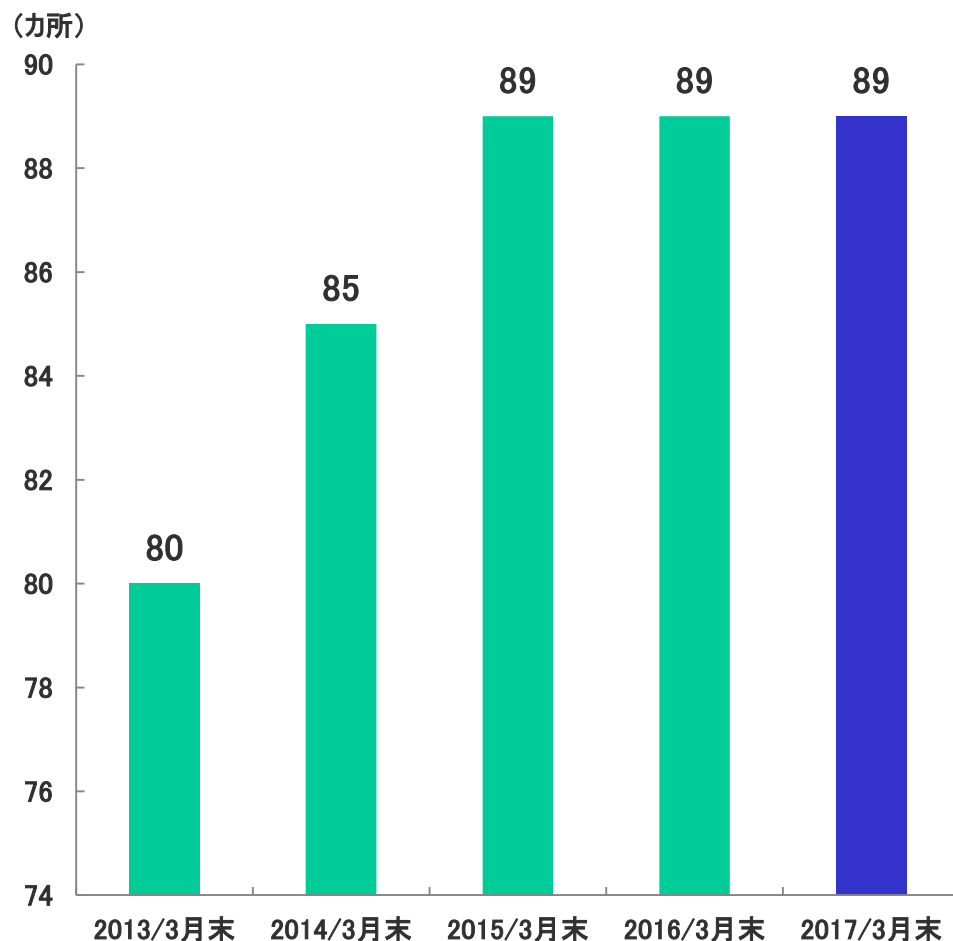


出所: 国民健康保険中央会資料より当社作成

■ 販売ネットワークの整備

- 全国に89拠点を展開

■ 営業拠点数の推移



■ 2016年3月期 新設・移転・統合の状況

新設

2015年5月	久留米ステーション
2015年8月	所沢営業所

移転

2015年5月	京都営業所
2015年6月	山形営業所
2015年11月	世田谷ステーション
2015年11月	立川営業所

統合

2015年6月	松戸ステーション → 柏営業所
2015年12月	新発田ステーション → 新潟営業所

■ オリジナル商品の開発

ケアフィットプラス

CARE FIT PLUS+

介助用



小柄な方、円背の方にも
おすすめな一台です。

女性や小柄な方にも合わせやすい

36cmの座奥行タイヤ径や座面の高さも
小ぶりなサイズ設計車いすのサイズが合
わないために起こってしまう、つらいずこけ
座りを防ぎます。

ワンタッチで素早いフィッティング!

背シートは、裏側から直接、しかもベルト1本(ワンフィットベルト)の
調整で済む手軽さ。短時間で簡単にフィッティングできるので、最
適な状態の維持を助けます。

しっかり
ケア

やさしく
フィット

3つの
特徴

共同開発製品

福祉機器の研究開発・臨床評価に20年以上の
実績を持ち、利用当事者の声を反映し、より実
用的な製品開発に取り組んでいる横浜市総
合リハビリテーションセンターとの共同開発製品
です。

あんしん
プラス

■ 福祉用具サプライ事業の持続的な成長の加速

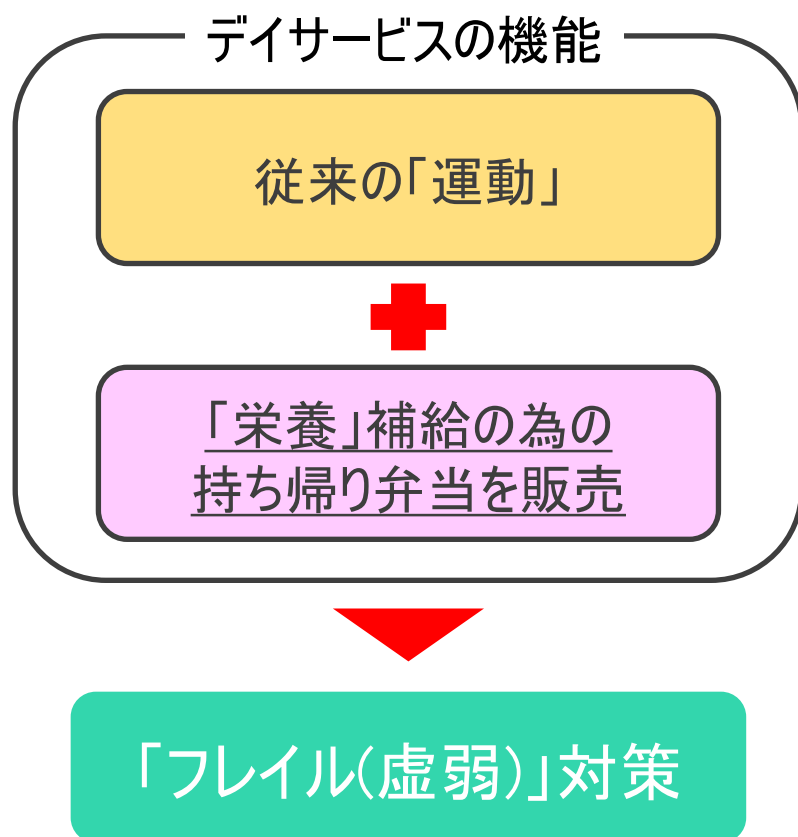
医療と介護の連携サービスへの取り組み

▶ 在宅高齢者生活支援サービス事業への取り組みを強化

■ けあピア食事サービス「バランス弁当」(冷凍弁当)

- 全国4万3千のデイサービスの送迎車両を活用した配食サービス

■ しっかり食べて、しっかり運動



デイサービスの新サービスに
お持ち帰り弁当を。



デイサービスのご利用さまと、介護スタッフの“声”から生まれました

●●●
持ち帰り配食サービスの確立

生活支援等の「介護保険外サービス」の推進(普及促進)

・ デイサービスの付加価値向上を支援

▶ 厚生労働省、経済産業省、農林水産省

「地域包括ケアシステム構築に向けた公的介護保険外サービスの参考事例集」

地域包括ケアシステム構築に向けた 公的介護保険外サービスの参考事例集

保険外サービス活用ガイドブック

厚生労働省 農林水産省 経済産業省
平成28年3月

【ご利用者から見て】
・ 食あたり約40kcal、食塩約2g
・ 全食（ご飯・パン）合計でも約500kcalの低カロリーで栄養バランスのとれたお弁当。メニューは現在42種類
・ 冷凍で長期保存も安心
・ デイサービスの送迎時に受け取ることもできる
・ 一食から注文できる。自宅の冷蔵庫に入れやすい
・ 今のところ送迎費のみ対応（橋下交差点等は未対応）

【事業者から見て】
・ 安心安全のお弁当をリーズナブルな価格で仕入れることができる
・ デイサービス車、人員で配達することにより販売価格から仕入原価を差し引いた額がデイサービスの収益となる
・ 冷凍庫や冷凍バッグといった備品も購入可能

【価格例】
● 一食あたり販売価格 500円（税抜）

主な利用費2000円以上のポイント

お弁当の定期利用で独居の方等の低栄養対策に

● 利用者のプロフィール：デイサービスの利用者であり、要介護1〜2くらいの方が多い。男女比ではデイサービスの利用者にして、女性が多い。独居の方が多い。
● QOL改善・向上のポイント（対応するニーズ）：定期的にお弁当を食べていただくことにより、高齢の方に起こりがちな低栄養の防止に効果がある。

平成28年3月

サービス分類 食事 対象施設等 高齢 福祉 福祉施設 高齢者 ニーズ 栄養改善

デイサービスの送迎車両活用で事業者・利用者双方にメリット けあピア食事サービス「バランス弁当」（冷凍弁当）

株式会社日本ケアサプライ

【ご利用者から見て】
栄養バランスのとれたメニュー豊富なお弁当（おかず）が、一食分から注文可能で、デイサービスを利用した後に持ち帰ることができる

【事業者として】
1. デイサービスの送迎車両という「社会資源」を有効活用することにより、配達費の問題を解決しつつ、デイサービス事業者にも収入増の機会を提供
2. 今後は弁当のメニューの充実化や、弁当以外の日用品の宅配にも広げ、幅広く買い物者や介護事業者の downstairs となることを目指す

ポイント

- 「食事を持ち帰りたい」消費者ニーズへの対応と、デイサービス事業者の経営支援が狙い
- デイサービスの送迎車両という社会資源の活用と、調達や物流の集約化でコストダウンを実現
 - 弁当をデイサービスでいったん保管し、そこから送迎車両で個人宅に届けることで、お弁当事業者は、一食から注文できる
 - デイサービス事業者は、弁当の販売が新たな収入となる
- 調達・物流の集約
 - 当社が一括で調達することで、小規模な事業者でも、弁当の仕入れが可能
 - 工場からデイまでの中間物流も一括で実施することでコストをおさねられる
- 配達先の拡大や、弁当以外の日用品の宅配も視野に、地域の小売りも参加できるオープンな仕組みを目指したい

商品・サービス概要 冷凍のお弁当（おかず）をデイサービス車を使って送迎時に届ける

【商品・サービス】
● 利用者から見て
● デイサービス事業者から見て

【価格例】
● 一食あたり販売価格 500円（税抜）

主な利用費2000円以上のポイント

お弁当の定期利用で独居の方等の低栄養対策に

● 利用者のプロフィール：デイサービスの利用者であり、要介護1〜2くらいの方が多い。男女比ではデイサービスの利用者にして、女性が多い。独居の方が多い。
● QOL改善・向上のポイント（対応するニーズ）：定期的にお弁当を食べていただくことにより、高齢の方に起こりがちな低栄養の防止に効果がある。

36

もっとうすい

商品・サービスが生まれた背景

きっかけはご利用者様の声から、デイサービス事業者の経営支援の狙い

- デイサービスのご利用者様の声から
グループ会社でデイサービスを運営しており、ご利用者様から、「食事（夕食）を持ち帰りたい」というご要望があった。
- デイサービス車両の有効活用、事業者の収入増
食事をお届けする際に必ず付けたがデイサービスの送迎車両。送迎の際に受けているだけで、それ以外の用途には使われておらず、有効活用できる「社会資源」の一つだと考えた。介護保険外サービス事業者は、弁当宅配を新たな収益源として活用してもらいたい。
- 低栄養対策・低カロリー防止にも
当社が運営する介護事業所運営サイト「ケアフォーティ」(http://www.care40.jp)を通じて、介護事業所の経営や施設介護事業所のケアマネジャーの意識を収集。「ご利用者様の身体機能の低下防止には、機能回復訓練に加え、低栄養対策が重要。在宅でしっかり食事をとっていただくための便利な食品（お弁当）が欲しい」という意見があった。

事業者の課題・課題を解決する

弁当の調達・配送の集約と、デイサービス車両の活用で低コストを実現

- 栄養バランスのとれた安心・安全のお弁当
メニューのバラエティも豊富で、栄養バランスや低カロリーにこだわっている。冷凍にしたのは、保存料等を少なくでき、安全性が高い。
- デイサービスの送迎インフラの有効活用
食事宅配における最大のネックは配達コストである。ご利用者様宅へ届かに際する送料が高額で、どうしても配達費が高くなってしまふ。結果として、商品の価格に上乗せするか、「廃」/「食」等のため廃止もせざるを得なかった。デイサービスの送迎インフラを活用し、送迎時に持ち帰っていただくことで、配達料を低く抑え、お弁当の配送にリーズナブルな価格で提供することができた。また、一食からの注文も可能となった。
- デイサービス事業者の経営支援、新しい収益源の提供
規模の小さいデイサービス事業者が冷凍の弁当を用意しようとしても、養分や衛生量が心配で、メーカーに直接発注することは難しい。この調達部分も当社が担っている。また、メーカーからデイサービスにお弁当を運ぶところまでを当社が担い、デイサービスの冷凍庫にストックしてもらい、そこからご利用者様が自宅に持ち帰る仕組み。当社の調達力を活かし、お弁当の調達とデイサービスまでの中間物流（ロードチェーン）を当社が一括管理を行うことでコストが抑えられる仕組みとなっている。また、販売価格から仕入原価を差し引いた分は、デイサービス事業者の収入となるため、保険料の新たな収入源にもなる。

当社の強み

デイ利用者から地域へ、お弁当から日用品へ。地域のインフラを目指す

- 「橋下交差点」や「わらわら食」など品揃えの拡大
現状では通常の食料品の提供となっている。いずれは橋下交差点やわらわら食、単身用食料品のような特別までがていきたい。
- 決済インフラも整え、生活物資の宅配も視野に
注文や決済のインフラを整えつつあり、将来的にはお弁当以外の生活物資も受け取れることもできる。冷凍のお弁当はあくまでもスタートであり、デイサービスの送迎車両・送迎人員という社会資源を活用して、買い物者や介護事業者のニーズを広く捉えていきたい。コンビニや地域のスーパーも備わったオープンな仕組みを構築していく予定である。

事業者からの、ご利用される方やケアマネジャー・自治体の方へのメッセージ

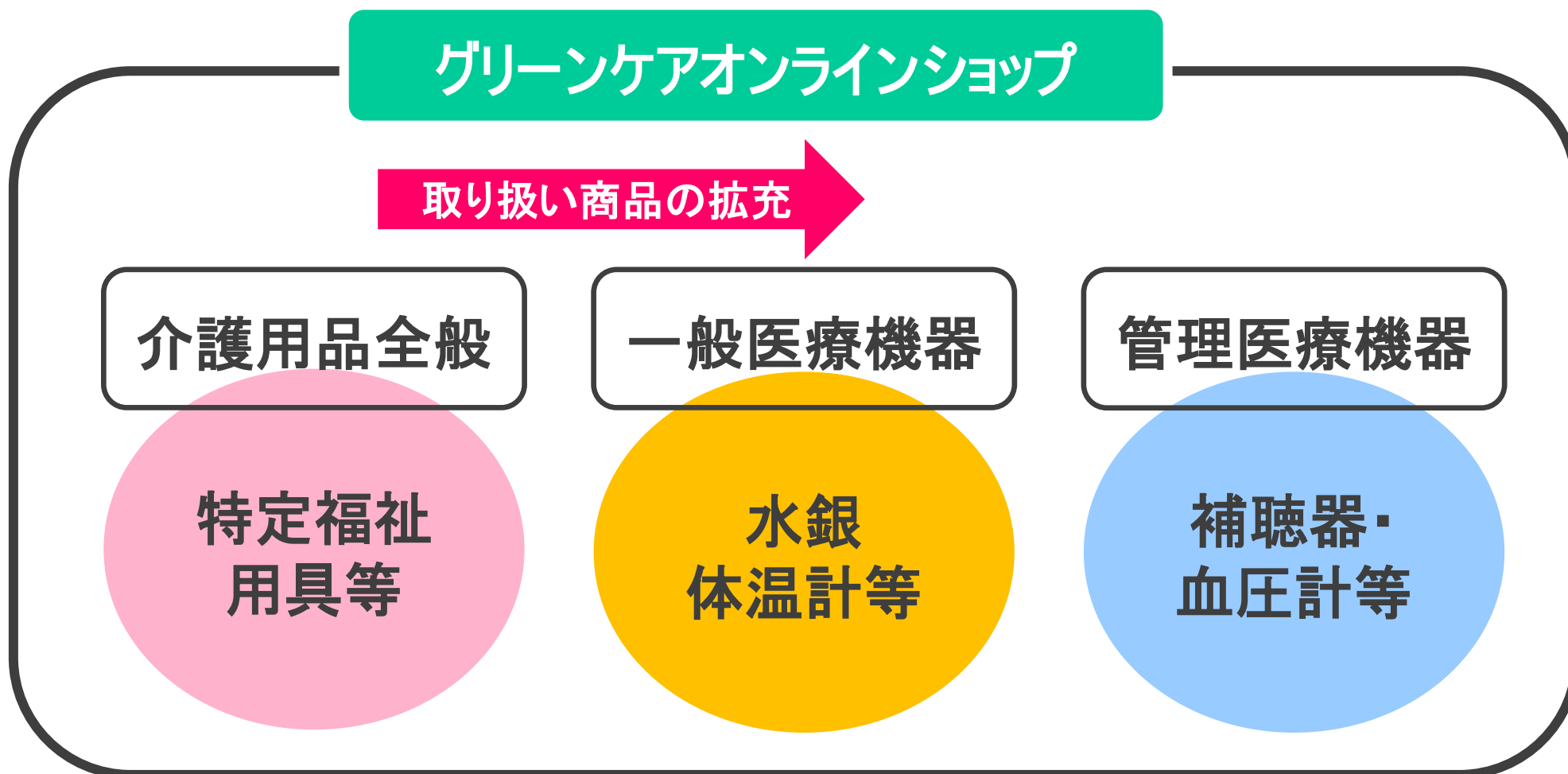
株式会社日本ケアサプライ 事業開発本部長 小川一誠

● ご自宅での生活もサポートする、そんな役割を担える「デイサービス」へ
お弁当の宅配に限りなく近い介護事業所運営サイト「ケアフォーティ」を通じて、ご利用者様の生活の質を向上させるべく、多くの介護関係者が集まるプラットフォームを構築しています。地域の「社会資源」とも見えるサービスが、介護事業者のサービスとして「生活をサポートする」新たな役割を担える存在になる事は、要介護高齢者の生活化の促進にも非常に有効な手段と見ています。

「けあピア食事サービス「バランス弁当」(冷凍弁当)」株式会社日本ケアサプライ 57

■ グリーンケアオンラインショップの拡大

- 医療機器※の取り扱い開始



※管理医療機器及び一般医療機器の販売

■ 訪問看護サービスの充実

- ソフィアメディ社との人材交流等の連携の継続



▶ ソフィアメディ株式会社

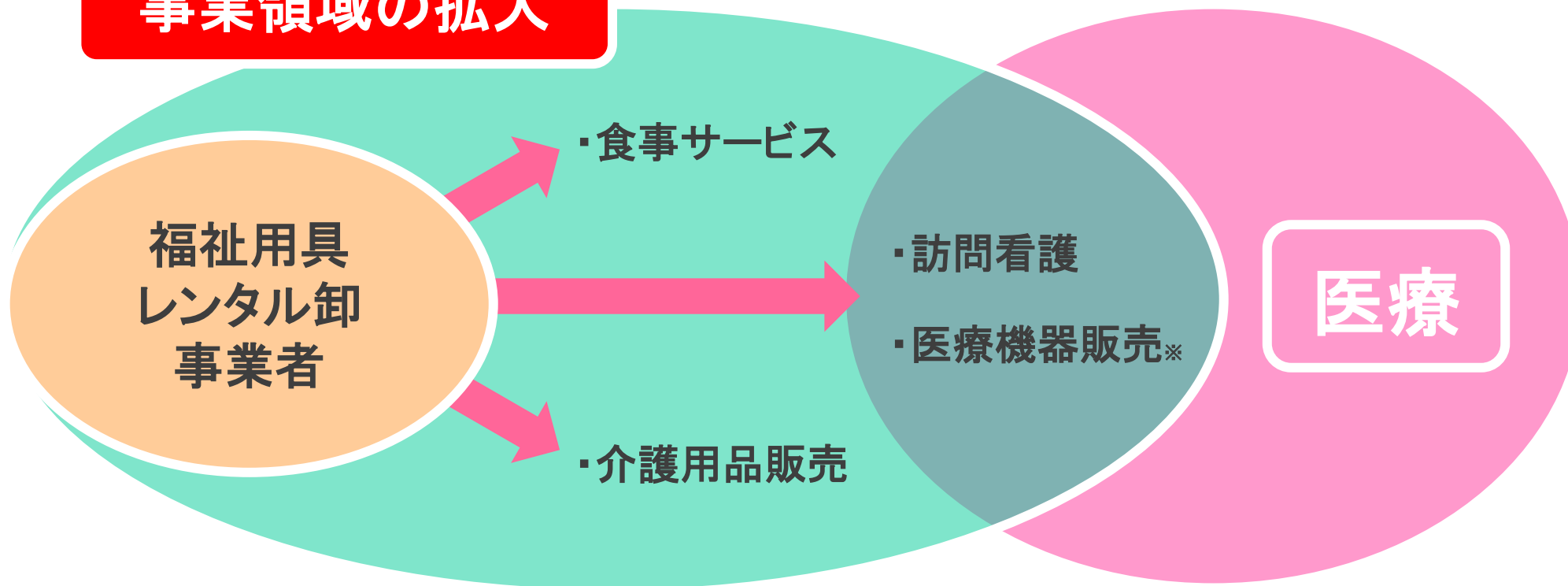
- 代表取締役：水谷和美
- 本社：東京都目黒区
- 従業員数：376名（うち看護師：116名、セラピスト：150名）

■ 医療と介護の連携サービスへの取り組み



▶ 在宅高齢者生活支援サービス事業への取り組みを強化

事業領域の拡大



※管理医療機器及び一般医療機器の販売

■ 世界の子どもにワクチンを

- 福祉用具レンタルのご利用数に応じて、収益の一部をワクチン代として寄付



写真提供 JCV



株式会社日本ケアサプライは
世界の子どもにワクチンを 日本委員会
の活動を支援しています。

認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを
日本委員会(JCV)
www.jcv-jp.org

©JCV

JCV公式キャラクター ワクちゃん

タイアップ番号

1182

提供 JCV

2017年3月期 通期業績予想



	2016/3期 実績	2017/3期 業績予想(5/9)	前期比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	13,707	15,000	1,292	9.4%
営業利益	1,247	1,450	202	16.3%
経常利益	1,259	1,450	190	15.1%
純利益※	776	900	123	15.8%
1株当たり純利益(円)	50.00	57.92	7.92	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

高齢社会への貢献

— 安心できる商品の供給と真心のこもったサービスの提供 —

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている計画、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は、記載されている見通し・計画とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。